

2023年1月より、京都市と連携協定を締結し、シェアサイクル事業を通じた交通課題の解決に取り組んでいます。京都市内では2021年11月よりシェアサイクル事業を開始し、2024年5月時点で760箇所以上のポートをご利用いただくことが可能です。日頃より、通勤や通学、買い物やお出かけ、さらには観光など、様々な場面で移動手段としてご利用いただいております。京都市役所前広場や左京区総合庁舎等公共施設、世界遺産の鹿苑寺（金閣寺）をはじめ様々な神社仏閣にもポートを導入しています。オーバーツーリズム対策として京都駅北口広場のポートも日々多くの市民・観光客にお使いいただいています。

適切にシェアリングサービスをご利用いただくことを目指して、京都市や京都府警とも連携した複数回の安全講習会の開催などを通じて、安全対策にも取り組んでまいりました。

京都ならではの課題として、観光シーズン中にはバスなどの既存公共交通機関が圧迫されてしまっている点や、南北の移動に比較して東西の移動が不便である点などがあげられますが、今後も京都市の皆様との対話を通じて、快適で安全に移動できる電動マイクロモビリティ事業を官民共同で行ってまいります。



京都市役所ポート



京都駅前ポート